

待降節・アドベントⅢ礼拝

2023年12月17日（日）

題 「ザカリアの預言」

テキスト：ルカによる福音書1章67～79

皆さま、おはようございます。

待降節、アドベント第Ⅲの主日を迎えました。いよいよ来週は御子イエスの誕生・クリスマスを迎えます。一緒に迎えたいと願います。

さて、今日の聖書の箇所は、洗礼者ヨハネの父であるザカリアという人の神への感謝と賛美の預言・賛美の歌です。この箇所はキリスト教会では伝統的にベネディクトゥスと言われ大切にされて来ました。ベネディクトゥスとはラテン語で「神をほめたたえよ！」という意味です。憐み深い神に感謝し誉めたたえるザカリアの心からの賛美です。ちなみにキリスト教会の歴史では最初の教皇はイエスの弟子のペトロですが、実はこのベネディクトゥと名の教皇がかなりいるようです。それだけ大切にされた言葉だったのだと思われます。

わたしたちは、老いたザカリアの神を賛美する言葉に心に向けたいと思います。

67:父ザカリアは聖霊に満たされ、こう預言した。

父ザカリアとは、このザカリアはあのイエスが現れる前からヨルダン川で救いを求めて集って来た人々に洗礼を授けていた洗礼者ヨハネの父親のことです。彼はエルサレムで祭司の仕事をしていた人物で、妻の名はエリサベトです。ルカによる福音書の最初の章に記されていますが、二人には子は与えられずもう年老いていたのです。この二人に与えられたのが洗礼者ヨハネなのです。

年老いて二人は大きな慰めを得て喜びを与えられたのです。それゆえ神への感謝も大きなものがあつたと推測できるのではないのでしょうか。

「ほめたたえよ！」の喜びの叫びです。昨年日本キリスト教団出版局から「老いと祝福」という本が出されました。その「はじめに」の箇所に「老いはちっともこわくない」とのことばがあり心に残りました。

68:「ほめたたえよ、イスラエルの神である主を。主はその民を訪れて解放し、

69:我らのために救いの角を、 / 僕ダビデの家から起こされた。

ここでの「角」とは野牛などの角を想像させますが、「角」は聖書では力を表すことばです。そして救いを「僕ダビデの家から起こされた。」のです。神の子イエスは、かつてのイスラエルの王であるダビデの家、つまり家系

から生まれた、と言われます。これは単に血筋ではなく、信仰の父と言われるイスラエルの族長アブラハムの子孫に対する救いの歴史が語られているのです。それが70節のことばにつながっています。

70:昔から聖なる預言者たちの口を通して / 語られたとおりに。

71:それは、我らの敵、 / すべて我らを憎む者の手からの救い。

72:主は我らの先祖を憐れみ、 / その聖なる契約を覚えていてくださる。

昔の預言者イザヤやダニエルをはじめとして、数々の預言者によって語られた救いの出来事、民の解放の出来事、それは単なる偶然でなく、天と地の創造者なる憐れみと約束に基づく神による救いの歴史なのです。

この救いの歴史は信仰の父と呼ばれたアブラハムまで遡ることができるのです。

73:これは我らの父アブラハムに立てられた誓い。こうして我らは、

74:敵の手から救われ、 / 恐れなく主に仕える、

75:生涯、主の御前に清く正しく。

神はアブラハムに対して立てられた誓いを、守られたということです。

(創世記 12 章 1 ～ 3 節(p15)参照)

それゆえ、憐み深い救いの神を信じる者たちは、恐れなく、びくびくせず主に仕えることができるのです。そして、神に与えられた人生を精一杯生き、生き抜き、生涯、主の御前に清く正しく生きて行こうとするのです。主が共にいてくださるとの思いを与えられて生きて行けるのです。

76節からは、洗礼者ヨハネを救い主イエスの誕生を感謝と喜び伝える者としてたたえられていると思えます。

76:幼子よ、お前はいと高き方の預言者と呼ばれる。主に先立って行き、

その道を整え、ここでの「幼子よ」とは、洗礼者ヨハネのことです。「主に先立って行き、」。ここで主とは、救い主イエス・キリストのことだと思われます。主イエスが地上に来られることを語ったのは、洗礼者ヨハネでした。老いたザカリアと妻エリサベトはヨハネ産み、育てることによっての神の憐れみを受けて、救い主イエスを伝える者として立てられ、神の救いの歴史に確かに豊かに神に用いられて行ったのです。ここに集う、わたしたちも神さまの憐れみにより、教会の歴史を担う者たちとして覚えられ、用いられるのです。神さまは、自分の所に来るものを拒まれず、お見捨てにならない方なのです。

ですから年を重ねた者たちは更に神の恵に預かり、それを感謝して祈りの生活をするのができるのだと思います。どのような人でも、神に祈り賛美することはできるのです。祈りは人生の最後までできる尊い働きだと言われます。わたしたちが神に祈る時、そこに聖霊が働き、神の力によって導かれるのです。わたしたちは、聖書の言葉に立って、祈り、そして賛美の生活に徹することに

よって心豊かな生活をあたえられて行くのだと信じます。

77:主の民に罪の赦しによる救いを / 知らせるからである。

78:これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって、 / 高い
所からあけぼのの光が我らを訪れ、

79:暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、 / 我らの歩みを平和の
道に導く。」

ザカリアは晩年になって神の憐れみを知った人でした。わたしたちは救い主イエスがこの地上に来られた時代に生かされ生きています。ですから年齢や性別、地域などにかかわらず神さまの光に照らされ、神の平和の中を歩みゆく一人一人であり、主イエス・キリストにある群れでありたいと願います。

「神をほめたたえよ！」皆さまの上に主の平安を祈ります。